



	H25.9.30	(1) (2) (1) (2)
	H26.1.22	

	H26.3.20	(1)	
		(2)	
		(3)26	
		(1)	
		(2)	26

	未成年者の喫煙防止セミナー	

()

	794	750	747	100	2391	123	38	0	39	200

()

	H26 1. 26		

	H25 9.18		
	H25 10.2		

()

	H26 1. 15		

H25年度 特定疾患医療受給者証 所持者数 (H26年3月末現在)

疾患番号	疾患名	みやま市	大木町	大川市	筑後市	広川町	八女市	柳川市	総計
1	ベーチェット病	9	3	2	9	3	15	11	52
2	多発性硬化症	7	2	3	4	1	7	11	35
3	重症筋無力症	11	6	10	6	1	3	16	53
4	全身性エリテマトーデス	20	8	23	24	6	29	38	148
5	スモン	2		2	1		5	3	13
6	再生不良性貧血	2		3	5	2	4	6	22
7	サルコイドーシス	5	2	9	10	1	13	18	58
8	筋萎縮性側索硬化症	1	2	11	4	2	6	6	32
9	強皮症／皮膚筋炎及び多発性筋炎	19	7	21	23	11	34	19	134
10	特発性血小板減少性紫斑病	11	3	9	12	1	16	11	63
11	結節性動脈周囲炎	3			6	1	7	8	25
12	潰瘍性大腸炎	63	16	50	72	29	82	90	402
13	大動脈炎症候群	3		1	9	1	1	8	23
14	ビュルガー病（バージャー病）	4	1	2	4	1	5	3	20
15	天疱瘡	1		2	3	2	4	2	14
16	脊髄小脳変性症	8	5	8	7	8	20	14	70
17	クローン病	12	5	10	16	7	17	27	94
18	難治性肝炎のうち劇症肝炎								0
19	悪性関節リウマチ	2		1			2	1	6
20	パーキンソン関連疾患	68	12	49	51	16	107	124	427
21	アミロイドーシス	2			1	1	3	5	12
22	後縦靭帯骨化症	31	5	12	42	10	46	37	183
23	ハンチントン病			1	3				4
24	モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	3	3	4	5	3	14	4	36
25	ウェゲナー肉芽腫症				2		1	3	6
26	特発性拡張型（うっ血型）心筋症	6	2	5	5	1	9	7	35
27	多系統萎縮症	4		3	7	1	5	4	24
28	表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）							1	1
29	膿疱性乾癬	1		1	1	1	3	1	8
30	広範脊柱管狭窄症		2	2	1		6	6	17
31	原発性胆汁性肝硬変	12	2	7	6	3	12	17	59
32	重症急性膵炎	1	1		1	1	5	4	13
33	特発性大腿骨頭壊死症	9	1	5	4	9	28	10	66
34	混合性結合組織病	4		2	7		6	7	26
35	原発性免疫不全症候群						1		1
36	特発性間質性肺炎	4		6	2	1	7	4	24
37	網膜色素変性症	7	4	7	16	4	15	13	66
38	プリオン病							1	1
39	肺動脈性肺高血圧症	1	2		2	1		1	7
40	神経線維腫症I型／神経線維腫症II型	1		5	2	1	4	2	15
41	亜急性硬化性全脳炎								0
42	バット・キアリ（Budd-Chiari）症候群								0
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症							2	2
44	ライソゾーム病					1	2		3
45	副腎白質ジストロフィー				1				1
46	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）								0
47	脊髄性筋萎縮症								0
48	球脊髄性筋萎縮症								0
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎							2	2
50	肥大型心筋症				2		4		6
51	拘束型心筋症								0
52	ミトコンドリア病							2	2
53	リンパ管筋腫症（LAM）				2				2
54	重症多形滲出性紅斑（急性期）							1	1
55	黄色靭帯骨化症	1		1	3	1	7	2	15
56	間脳下垂体機能障害	2	1	10	5	6	9	33	33
	総計	340	94	278	391	137	561	561	2362

	H25 6 11			
	H25 9 12			
筋萎縮性 側索硬化症	H25 8 29	「筋萎縮性側索硬化症について ～ 一人で悩んでいませんか～ 」 氏		
	H25 10 24			

H25 11. 14	<p>ALS 療養者の自立(自律)にむけたアプローチ～事例をとおして～ 事例検討「難病疾患の事例を通して」</p> <p>講師 おおかわ訪問看護ステーション 所長 石橋 不二子 氏</p> <p>講演1</p> <p>(1)ALS 療養者の立場から 講師 石橋 敏彦 氏 (2)ALS 療養者の妻の立場から 講師 石橋紀久代 氏 (3)リハビリの立場から</p> <p>講師 二日市徳洲会病院作業療法士 井上 雅貴 氏</p> <p>講演2「ALS 療養者の自立にむけたアプローチ」</p> <p>講師 医療法人徳洲会東京本部ALSケアセンター長 今井 尚志 氏</p>	

5 肝炎対策 (福岡県肝炎治療特別促進事業)

肝炎ウイルスは肝がんの主な発症原因であるが、肝炎ウイルスを早期に発見し治療に結びつけることで予防することができる。インターフェロン治療はB型及びC型肝炎ウイルス、また、核酸アナログ製剤治療は、B型肝炎ウイルスの有効な治療方法である。しかし、インターフェロン治療は月額の治療費が高額であり、核酸アナログ製剤治療は長期間に及ぶ治療によって累積の医療費が高額となるため、早期治療の推進の妨げになり重要な課題となっている。

このため、福岡県では平成20年4月1日から、B型及びC型肝炎ウイルスに感染し、インターフェロン治療を受ける予定の者(又は治療中の者)に対し、インターフェロン治療に係る医療費の一部を助成する制度を実施している。また、平成21年4月1日からは、受給者証の有効期間延長申請(6か月)や自己負担限度額認定区分に係る「世帯」の例外的取扱いを実施している。さらに、平成22年4月1日からは、肝炎インターフェロン治療の2回目の制度利用、B型肝炎ウイルスに感染し核酸アナログ製剤治療を受ける予定のもの(又は治療中の者)に対しては、核酸アナログ製剤治療に係る医療費の一部を助成する制度が開始された。あわせて自己負担限度額の基準も変更になり、一部、自己負担限度額(月額)が軽減された。平成26年2月からシメプレビルを含む3剤併用療法が制度化した。平成25年12月から遡及できることになり、それ以降、シメプレビルを含む3剤併用療法の申請が増加した。

肝炎インターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療受給者証交付者数

	平成24年度					平成25年度				
	インターフェロン			アナログ		インターフェロン			アナログ	
	総数	内訳		新規	更新	総数	内訳		新規	更新
柳川市	21	新規(3剤以外)	10	3	41	26	新規(3剤以外)	10	10	40
		3剤併用	9				3剤併用	15		
		延長	2				延長	1		
		2回目	0				2回目	0		
みやま市	19	新規(3剤以外)	9	3	23	12	新規(3剤以外)	4	4	23
		3剤併用	9				3剤併用	8		
		延長	1				延長	0		
		2回目	0				2回目	0		
大川市	35	新規(3剤以外)	21	4	13	16	新規(3剤以外)	5	2	21
		3剤併用	9				3剤併用	8		
		延長	1				延長	1		
		2回目	4				2回目	2		
大木町	4	新規(3剤以外)	1	0	5	5	新規(3剤以外)	1	2	6
		3剤併用	2				3剤併用	4		
		延長	0				延長	0		
		2回目	1				2回目	0		
筑後市	13	新規(3剤以外)	9	3	29	10	新規(3剤以外)	5	7	32
		3剤併用	2				3剤併用	5		
		延長	1				延長	0		
		2回目	1				2回目	0		
八女市	37	新規(3剤以外)	13	3	26	16	新規(3剤以外)	5	3	25
		3剤併用	21				3剤併用	10		
		延長	1				延長	0		
		2回目	2				2回目	1		
広川町	14	新規(3剤以外)	6	0	5	4	新規(3剤以外)	0	0	5
		3剤併用	7				3剤併用	4		
		延長	1				延長	0		
		2回目	0				2回目	0		
計	143	新規(3剤以外)	69	22	142	89	新規(3剤以外)	30	28	152
		3剤併用	59				3剤併用	54		
		延長	7				延長	2		
		2回目	8				2回目	3		

6 歯科保健

(1) 地域保健関係職員等歯科保健研修

施設（居住系施設含む）や市町職員等の歯科口腔保健への関心を高め、高齢者の歯科口腔の健康及びQOLの保持増進を図ることを目的に、日々のケアの中で実施できる口腔リハビリ等について実技演習を行うもの。

日時	場所	内容	参加者数
H26. 3. 20	サザンクス筑後 イベントホール	テーマ：「一生おいしく、楽しく、安全な食生活を送るために！」 講師：福岡県歯科衛生士会 橋本稔恵氏 内容：嚥下体操、顔面体操、口腔マッサージ、唾液腺マッサージ等の口腔リハビリテーション	89

(2) 特殊歯科保健医療推進事業

在宅療養中の心身障害者（児）に対して歯科健診を行うことで、適切な治療や保健指導に結びつけ、口腔健康管理の充実を図ることを目的とする。

日時	場所	内容	受診者数	要治療者数
H26. 3. 4	柳川総合庁舎 2階 診察室	○ 乳幼児発達診査の対象者に対して実施。 ○ 健診スタッフ 歯科医師：古澤綾氏 歯科衛生士：深田祥子氏	5	3

7 原爆被爆者援護

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、原爆症認定申請をはじめ、被爆者健康手帳交付申請、一般疾病医療費支給申請、諸手当支給認定申請の他に、福祉事業の訪問介護利用助成受給者資格認定申請等を行っている。

被爆者健康診断については、平成13年から医療機関委託となり、年2回の健康診断等に関する事務を行っている。

被爆者健康手帳交付状況

(平成26年3月末現在)

区分	被爆者健康手帳	健康診断受給者証	計
件数	145	3	148

各種手当支給状況

(平成26年3月末現在)

医療特別手当	特別手当	健康管理手当	保健手当	介護手当	家族介護手当	葬祭料
4	1	130	2	0	1	8

8 在宅医療推進事業

地域在宅医療支援センターは在宅緩和ケア等について相談できる窓口として平成20年度に県内4か所をモデルとして設置され、平成22年度からは県内全保健福祉環境事務所に設置された。

南筑後地域在宅医療支援センターでは、地域における在宅医療を希望する患者及びその家族の相談・支援に対応し、療養上の悩みや不安解消及び在宅医療の普及啓発並びに在宅医療の係る関係機関との連携体制の支援や情報提供、相談、医療従事者に対する研修会等を行っている。

平成25年度 南筑後地域在宅医療支援センター実績

取組みの柱		取組み
実態調査		○訪問看護ステーション サービス提供体制実態調査 対象数：31か所（管内+大牟田市）、回 答：29か所（回収率：93.5%）
地域・住民向け	相談窓口	○センター案内チラシの配布 ○相談窓口「南筑後地域在宅医療支援センター」の設置
	周知・啓発	○県政出前講座（医療指導課受付分+保健所受付分） （1）大川市民生委員・児童委員研修会 会場：大川市文化センター 小ホール 参加者数 100名 （2）柳川市老人クラブ連合 会場：サンブリッジ（三橋総合保健福祉センター） 90名 （3）みやま市食生活改善推進会 会場：あたご苑 40名
		○住民公開講座 「家に帰ろう」 （日時）平成25年10月5日（土）13:30～16:00 （会場）久留米市民会館 大ホール （内容）第1部 基調講演「あなたが笑えば まわりも笑顔」 講師：昇 幹夫 氏 第2部 住み慣れた在宅で看取るには 1. 寸劇「家に帰ろう」 2. パネルディスカッション 座 長：南筑後保健福祉環境事務所 保健監 柴田 和典 パネリスト：齋藤如由氏（医師）、黒岩光氏（医師）、金子吉一氏（薬剤師）、 黒田喜美枝氏（地域医療連携室相談員）、荒巻初子氏（訪問看護師）、 歳川美也子氏（介護支援専門員）、岩佐一弘氏（久留米市保健所長） （参加）一般住民、医療従事者・介護従事者等の在宅療養支援者、行政職員等 190名
		○住民公開講座 「病気になっても最期まで やっぱり家がいい」 [共催]八女筑後医師会 （日時）平成26年3月15日（土）13:30～15:30 （会場）おりなす八女 はちひめホール （内容）第1部「在宅医療ってどんなもの」： 第2部 パネルディスカッション「在宅でもこんな医療・介護サービスがうけられます！」 座 長：南筑後保健福祉環境事務所 篠原由紀子 パネリスト：黒岩光氏（医師）、山口博澄氏（歯科医師）、平田剛氏（薬剤師）、 南光子氏（訪問看護師）、福田裕樹氏（作業療法士）、井上昌和氏（介護支援専門員）、 加藤渉太氏（医療ソーシャルワーカー）、大石潤子氏（地域包括支援センター） 会場周囲展示：福祉用具、介護入浴車両、栄養補助食品の展示等 （参加者）一般住民、医療従事者、介護従事者、福祉従事者、行政職員等 203名
在宅医療従事者向け	退院促進	○退院支援・促進研修会 「どこまでできる!?南筑後地域の退院支援 ～在宅医療と在宅緩和ケア～」 （開催日時）平成25年7月23日（火）14:00～16:30 （会場）福岡県柳川総合庁舎 2階 大会議室 （内容）（1）問題共有：現在の医療体制と動向、南筑後地域の現状と課題 （2）情報交換・意見交換 テーマ：「地域の医療資源を知り、使いこなそう」 ファシリテータ：公立八女総合病院 副企業長 平城 守 氏 （参加者）病院看護師、訪問看護師、施設職員、ソーシャルワーカー、介護支援専門員等 69名

取組みの柱	取組み
従事者の質の向上	<p>○南筑後地域 訪問看護ステーション等スキルアップ研修会 (開催日時) 平成26年2月20日(木) 18:30~20:30 (会場) 長田病院 2階 研修室 (内容) (1) 「在宅でできる痛みを和らげるためのケア ～痛みの見方とケアの実技～」 講師：長田病院 がん看護専門看護師 成清 優子 氏 実技演習：長田病院 緩和ケア認定看護師 石橋 あかね 氏 (2) 情報交換「在宅での腹膜透析について(基礎編)」 情報提供者：おおかわ訪問看護ステーション 管理者 石橋 不二子 氏 訪問看護ステーションすいせん 管理者 猿渡 京子 氏 訪問看護ステーション花水木 管理者 廣松 裕美 氏 (参加者) 訪問看護師、病院看護師、介護支援専門員、介護士 27名</p> <p>○南筑後地域 在宅医療を支える施設職員等研修会 (開催日) 平成26年3月20日(木) 18:30~20:30 (会場) サザンクス筑後 1階 イベントホール (内容) (1) 情報提供：療養場所の動向、療養場所への住民意識 (2) 講演「『住み慣れた施設で最期まで』を叶えるために」 講師：住宅型有料老人ホーム ウェルケアホーム今里 施設長 荒巻 初子 氏 (3) 講演「一生おいしく、楽しく、安全な食生活を送るために！」※歯科保健事業 講師：福岡県歯科衛生士会 橋本 稔恵 氏 (参加者) 介護老人保健施設、介護老人福祉施設、老人ホーム、地域包括支援センター 等職員 89名</p>
多職種連携	<p>○南筑後地域 在宅医療推進研修会 「今こそ！在宅医療支援ネットワークの構築に向けて ～宗像地域の取組み～」 (開催日時) 平成26年3月6日(木) 19:00~20:30 (会場) 福岡県柳川総合庁舎 2階 大会議室 (内容) 宗像地域の取組み紹介 座長：南筑後保健福祉環境事務所 保健監 柴田 和典 講演「宗像医師会における在宅医療の取組みについて」 講師：宗像医師会 在宅支援担当理事 吉田 道弘 氏 講演「宗像地区における在宅医療・療養チームの取組み ～訪問看護の立場から～」 講師：宗像医師会訪問看護ステーション 管理者・主任介護支援専門員 阿部 久美子 氏 (参加者) 医師、看護師、介護支援専門員、薬剤師、歯科医師、医療ソーシャルワーカー 等 131名</p>
多職種連携	<p>○多職種連携事業への協力 (実施主体：医師会、地域医療再生基金) (1) 八女筑後ブロック (平成25年12月26日(木) 19:00~21:00、八女筑後医師会 講堂) (2) 柳川山門ブロック (平成26年1月17日(金) 19:00~21:00、御花 元禄の間) (3) 大川三瀧ブロック (平成26年1月23日(木) 19:00~21:00、大川市文化センター) ○柳川・みやま地区訪問看護ステーション連絡協議会への参加</p>
検討・課題の解決	<p>○南筑後地域在宅医療推進協議会 1. 八女筑後医療圏 (平成25年12月2日(月) 14:00~15:30) 2. 柳川・大川・みやま・大木地域 (平成25年12月10日(火) 13:30~15:00)</p>
NPO・ボランティア	<p>○NPO、ボランティアの活動への参加 (第23回訪問看護介護者交流会、在宅ホスピスを語る会)</p>
地域支援	<p>○在宅医療・介護に係る管内連絡会 (開催日時) 平成26年3月24日(月) 14:00~15:00 (会場) 福岡県柳川総合庁舎 2階 大会議室 (内容) (1) 情報提供：今後の在宅医療に係る施策の動向 (2) 「在宅医療・介護連携のための市町村ハンドブック」の配布 (3) 各地域における在宅医療推進の状況、社会資源等について (4) 意見交換 (出席者) 管内市町高齢者担当課、介護保険担当課、地域包括支援センター職員 10名</p>

10 母子保健

(1) 養育医療給付申請

(2) 乳幼児発達診査事業

出生等の状況から心身の正常な発達に関して諸問題を有している児や、乳幼児健診及び家庭訪問等で精神運動発達面及び言語発達面において障害を残すおそれのある乳幼児に対して、市町や医療機関との連携のもとに実施した。

		本庁舎	八女分庁舎	計
実施回数		6	6	12
受診者数	実人員	7	8	15
	延人員	16	16	32

(3) 未熟児等訪問指導事業

産後の母親のメンタルヘルス支援として、未熟児や新生児訪問時に、「育児支援チェックリスト」「エンジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）」「赤ちゃんへの気持ち質問票」を活用し、産後うつ病の早期発見に努め、育児不安の軽減、虐待の発生予防に重点を置き、市町と協力しながら訪問を行なっている。

訪問件数	妊産婦		未熟児		新生児		乳児		幼児	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
家庭訪問	31	41	28	39	3	3	0	0	0	0
病院訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 身体障害児及び慢性疾患児に対するトータルケア事業

今年度は、子育てに関わる関係者を対象に、発達障害児の理解を深めることを目的に講演会を実施した。

()			
H . .			

(5) 不妊治療等支援事業

不妊治療を希望しているにもかかわらず、経済的負担感を感じている夫婦に対して費用の一部を助成。平成16年度から事業が開始され、平成23年度から1年度目は年3回まで、2年度目以降2回を限度で通算5年度（通算10回まで）申請ができることとなった。

さらに、平成26年4月1日からは助成制度の見直しがなされ、助成対象年齢や助成回数に変更となった。

不妊治療費助成申請件数

年 度	1 回 目	2 回 目	3 回 目	計
2 4	1 3 3	6 7	1 3	2 1 3
2 5	1 3 2	6 2	1 5	2 0 9

(6) ハイリスク妊産婦支援事業

妊娠期からリスクのある母親を把握し、産後うつ病を含めた育児等の不安軽減を図ることと、関係者の資質向上のために研修会を開催することで、関係機関と連携しながら虐待を未然に防止することを目的としている。

今年度は、妊娠期からのケア・サポート事業として、「こども虐待対応の手引き」の改正内容を事例を通して理解し、支援につなげることができるよう講話及び意見交換会を実施した。子育て支援グループ教室は、平成25年度より未熟児の訪問指導の実施主体が市町へ移譲されたことに伴い、今後の母子保健事業が円滑に推進されるため、臨床での未熟児の実際について講演会を開催した。

実施日	講 師	内 容	参加数
H25.12.25	久留米児童相談所 相談第二課長 黒田 耕治氏	講話 「子どもたちをみんなで守っていくために～『こども虐待対応の手引き』の改正概要について～」	28
H25.10.25	聖マリア病院 助産師 野上 和子氏	講話 「周産期母子医療センターにおける未熟児看護の実際について」	20

(7) 生涯を通じた女性の健康支援事業

女性は、妊娠・出産の仕組みが備わっており、そのライフステージにおいて女性特有の様々な支障や心身にわたる悩みを抱えていることが多いため、気軽に相談できるような相談体制を確立することで、生涯を通じた女性の健康保持を図るものである。

今年度は不妊治療中の女性を対象に、知識の普及と治療に伴う不安と悩みの軽減を図るための研修会を実施した。

実施日 (実施場所)	講 師	内 容	参加数
H26.3.18	助産師 不妊看護認定看護師 加来 久美氏	講話 「不妊治療とのつきあい方～焦ったり凹んだりいららしないために～」	9

措置入院の解除は、指定病院管理者より「措置入院の症状消退届」が提出された後、内容を審査のうえ、病院関係者及び措置入院者本人に対する聞き取りを行っている（解除面接）。解除面接をした件数は、19件である。

入院形態別 管内精神科病院の入院者数（平成26年3月末現在）

年度	管内病床数	措置患者数	医療保護入院者数	任意入院者数	その他入院者数	合計
23	912	2	276	585	2	865
24	912	5	288	548	6	847
25	912	4	303	553	3	863

年度	申請・通報	通 報 等 内 訳 ^{注2}				合計	措置入院者数
		23条	24条	25条	26条		
25	実件数	(1)	35(15) ^{注1}	0	17	53	12

注1) ()は、大牟田市対応 再掲。

注2) 23条:診察及び保護の申請、 24条:警察官の通報、 25条:検察官の通報、 26条:矯正施設の長の通報

		一般精神	心の健康	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思期	人神健	の	合	う	ひこり	殺連	罪害
		24	3	4	1	0	1	1	1	0	35	1	0	0	0
		15	14	1	2	2	0	0	2	0	36	2	3	1	0
		25	20	10	3	8	0	0	3	0	69	2	4	1	0
		13	16	0	0	0	0	3	1	0	31	0	2	0	0
		13	16	0	0	0	0	3	1	0	33	0	2	0	0
		41	33	2	3	2	1	4	4	0	90	3	5	1	0
		62	39	14	4	8	1	4	5	0	137	3	6	1	0

		一般精神	の健	社復	アルコー	薬	ギンル	思春期	老人精神保健	その他	合計	うつ	ひきこもり	自殺関連	犯罪被害
		95	47	18	11	5	0	4	4	3	187	9	5	0	0

		一般精神	心の健康	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思期	人神健	の	合	う	ひこり	殺連	罪害

	老人精神保健	会 帰	ル コ ー				の					
									り		自殺 の	者
110	0	121	5	0	0	13	263	402	5	0	0	0

“ ”

“ ”

()

7/15

	性 害	精神 物質 の 障害	精神 物質 用 の 障害	合 症 統 合 調 症	障 害	障 害 及 び 性 障 害	神 症 性 障 害 及 び 性 障 害 に 連 た 動 候	生 理 的 障 害 に 連 た 動 候	成 の 人 格 及 び 行 動 の 害	精 神 遅 滞	心 理 的 発 達 の 障 害	小 児 期 及 び 青 年 期 に 通 常 発 症 す る 行 動 及 び 情 緒 の 障 害	て ん かん	分 類 不 明	計
24	95	86	1,396	1,321	218	8	10	34	57	30	340	9	3,604		
25	97	91	1,409	1,397	225	9	11	42	62	49	334	7	3,743		

()
